

2018春季生活闘争

J R 連 合 F A X ニ ュ ー ス

No. 21

2018年2月27日

日本鉄道労働組合連合会

J R 連 合 九 州 地 協 2018 春 季 生 活 闘 争 勝 利 総 決 起 集 会

全組合員・家族一丸の闘いを確認

J R 連 合 九 州 地 方 協 議 会 (九 州 地 協) は、2月25日、福岡市内で「2018春季生活闘争勝利総決起集会」を開催した。集会には、九州地協に結集するJ R九州労組、J R西労組福岡地本、貨物鉄産労九州地区本部、J R九州バス労組の組合員60名が参加し、賃金引き上げや総合生活改善に資する労働条件向上、非正規労働者の均等・均衡待遇の実現にむけ、加盟4単組が一丸となって闘う決意を固め合った。

冒頭、九州地協を代表して中原博徳議長（J R連合副会長・J R九州労組中央執行委員長）が挨拶に立ち、「政府が賃上げの旗振り役を担う『官製春闘』は安倍政権の焦りの裏返しでしかない」と指摘したうえで、「九州地協に加盟する4単組のうち3単組は既に会社へ要求書を提出し、残り1単組も2月28日に要求書の提出を予定している。加盟各単組は主体的かつ建設的な労使自治に基づく真摯な労使協議を通じて、『底上げ・底支え』『格差是正』に結びつく成果を勝ち取り、働きがいのあるJ Rグループを創造しよう」と参加者に奮起を促した。

集会では、来賓として越智直樹九州交運労協事務局長が出席し、激励と連帯の挨拶を行った後、J R連合から出席した北村公次労働政策部長が、J R連合の2018春季生活闘争方針やJ R東日本労使を巡る情勢などについて基調講演を行い、参加者全員で理解を深めた。

その後、加盟各単組の代表者が春闘勝利にむけた決意表明を行い、「九州地協に結集する仲間の幸せを実現するため、組合員とその家族が一丸となった闘いを展開する」とした集会アピールを採択。最後に中原議長の団結ガンバロウで閉会した。

以 上